



POTEKA

POTEKAを茨城県常総市様へ設置

「平成27年9月関東・東北豪雨」は、茨城県常総市をはじめとした東日本の市町村に甚大な被害をもたらしました。被害にあわれた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。当社は、9月末に超高密度気象観測システムPOTEKAを被害のあった茨城県常総市様に設置しました。

市内中央を流れる鬼怒川周辺にPOTEKAを設置し、観測を開始しています。POTEKAの観測情報により、ゲリラ豪雨や突風、竜巻などの急激な気象の変化をいち早く検知し、市民の皆様の迅速な避難行動などを可能にすることが期待できます。また、10月15日NHK水戸放送局放送の「NHK茨城ニュース いば6」の「あしたVISION」のコーナーでは、守谷様が豪雨災害に備えて新たな気象システムとして導入したPOTEKAが取り上げられ、その有用性について放映されました。明星電気の技術が様々な場面で防災・減災に貢献できるように機器開発、提案活動を展開していきます。

(担当: 気象・管制事業部)



霧積ダム



優良技術者表彰式(左端当社社員)

群馬県建設工事施工者表彰をいただきました

当社は2014年度に行った霧積ダム堤体・気象観測設備更新工事において、群馬県建設工事施工者表彰の県土整備部長表彰をいただきました。

表彰されたのは、「施工者表彰」と「優良技術者表彰」の2件です。

本工事において電気通信設備の施工管理基準にのっとり、使用部材の耐久性及び安全性を高めることに努めて施工しました。

また、作業現場に超高密度気象観測システムPOTEKAを設置し、屋外作業中断・退避のための観測雨量・風速の基準値を定めて、関係者に周知することにより安全管理を行いました。

今後も、「安全はすべてに優先する」を旗印に建設工事を進めていきます。

(担当: 防災事業部、関東支店)



来場者に説明する当社社員



展示ブース全景

気象技術世界博覧会2015 (MTWE 2015)に出展

2015年10月13日から15日までの3日間、ベルギー・ブリュッセルにてMTWE 2015が開催されました。

当社は昨年に引き続き2度目の参加となり、超高密度気象観測システムPOTEKA、ラジオゾンデIMS-100を出展しました。

海外初出展となるPOTEKAは、実機展示と国内事例紹介を中心に展示しました。来場者からは、情報サービスに関する質問、意見を多くいただき、また日本とは異なったマーケットニーズを直接ヒアリングできるなど、貴重な機会を得ました。

IMS-100に関しては、各国気象局担当者や気象測器取扱業者との面談などを通じ、今後の営業活動につなげることができ、大きな成果となりました。また既存のお客様にも当社ブースを訪問いただきPOTEKA、IMS-100のPRの場になりました。

当社の技術PRとマーケティング活動のため、今後も積極的に国際展示会に参加していきます。

(担当: 気象・管制事業部、グローバル営業グループ)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。